

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

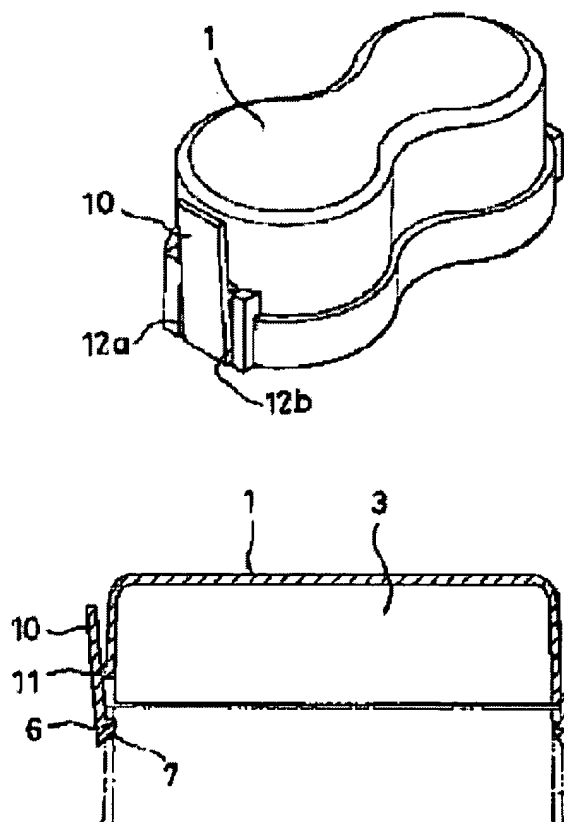
COVER INSTALLING DEVICE

Patent number: JP9112423
Publication date: 1997-05-02
Inventor: SHINGU KEISUKE; UNE KATSUTAKA
Applicant: ZEXEL CORP
Classification:
 - international: F04B39/00
 - european:
Application number: JP19950293755 19951016
Priority number(s):

Abstract of JP9112423

PROBLEM TO BE SOLVED: To surely install a cover and easily remove it on from a base body in a cover installing device, in which claws are provided on the cover to protect a terminal of a compressor and an engaging part with which the claws are engaged is provided on the base body, by providing the claw on a lever that is pivotally supported on the cover at its intermediate part.

SOLUTION: In a cover 1 made of resin, a space part 3 is formed in its inside, while a stepped part 4 by which the cover 1 is engaged with a base body 2 is formed on the opening side of the cover 1. Claws 5, 6 are formed at the position facing to each other in the longitudinal direction of the cover 1, so that each claw 5, 6 is engaged with an engaging hole 7 or 7, which forms the engaging part of the base body 2. In this case, the claw 5 faces toward the inside of the cover 1, while the claw 6 is placed at the lower end of a flat-plate-like lever 10 that is longer in its longitudinal direction and that is facing toward the inside. This lever 10 is installed in the cover 1 at the intermediate of the cover 1 in the longitudinal direction and via a pivoting point 11. With this contrivance, by pushing with a finger the reverse side of the claw of the lever 10 so that the lever 10 is rocked, taking the pivoting point 11 as a fulcrum, the engagement between the claws 5, 6 and the engaging part can easily be broken.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-112423

(43) 公開日 平成9年(1997)5月2日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
F 0 4 B 39/00	1 0 6		F 0 4 B 39/00	1 0 6 A

審査請求 未請求 請求項の数 2 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-293755

(22) 出願日 平成7年(1995)10月16日

(71) 出願人 000003333

株式会社ゼクセル

東京都渋谷区渋谷3丁目6番7号

(72) 発明者 新宮 啓介

埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39番地

株式会社ゼクセル江南工場内

(72) 発明者 宇根 勝孝

埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39番地

株式会社ゼクセル江南工場内

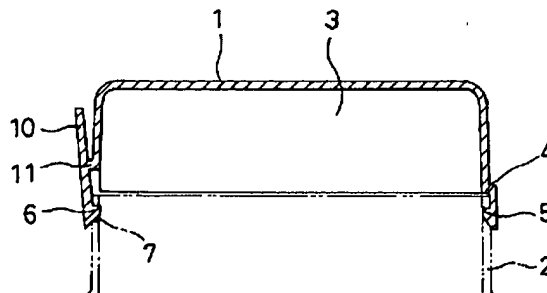
(74) 代理人 弁理士 大貫 和保

(54) 【発明の名称】 カバー取付装置

(57) 【要約】

【課題】 係合用の爪を容易に動かせるようにして係合を簡単に解除できるようにすることを目的とする。

【解決手段】 爪6を設けたレバー10をカバー1に枢支し、指にてレバー10を動かし、爪6を基体2の係合部7から容易に解除できるように構成したこと。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 カバーに爪を設けると共に、該爪に係合する係合部がカバーが取付られる基体に設けられたカバー取付装置において、

前記爪は中程でカバーに枢支されるレバーに設けたことを特徴とするカバー取付装置。

【請求項2】 カバーを樹脂としたことを特徴とする請求項1記載のカバー取付装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】この発明は、カバー取付装置、特に圧縮機の端子を保護するカバーであって、着脱自在なカバー取付装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、圧縮機の端子のカバーとして、例えば特開平3-175170号公報に示されるもの等が公知であり、この例では圧縮機本体11側に設けられたブラケット12、12に外側へ向けて切り起こし13、13が形成されている。そして、カバー14には、その外周面に前記ブラケット12、12を挿入するガイド部16、16と、このガイド部16、16に前記切り起こし13、13に相対する位置に係止孔17、17を設けている。これによって、ブラケット12、12の切り起こし13、13がカバー14の係止孔17、17に係止される構造となつて、カバー14を引っ張っても離れることなく、確実に取付出来るものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、確実に固定するには、前述の公知例でも良いが、メンテナンスのために、カバーを取り外す必要がある場合には、ブラケットの切り起こしがカバーの係止孔に係止されていて、取り外しにくく、ドライバーの先を切り起こしに当てて係止孔からの係合を外してカバーを取り外す作業をしなければならない。これらの作業をしなければならないのは取り外すことを予定されていないからである。

【0004】このように、カバーの取り外しは作業性が悪いのみならず、取り外し時に切り起こしがドライバー等で切断される恐れもあり、再度の取付固定が出来なくなることがあった。そこで、この発明は、カバーの基体への取付を確実にすることはもとより、取り外しを容易としたカバー取付装置を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】前述の目的を達成するため、請求項1記載の発明は、カバーに爪を設けると共に、該爪に係合する係合部がカバーが取付られる基体に設けられたカバー取付装置において、前記爪は中程でカバーに枢支されるレバーに設けたことにある。

【0006】請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明にあって、爪を有するレバーが枢支されたカバーは樹

脂としたものである。

【0007】したがって、請求項1及び2記載の発明では、爪に係合部に係合して確実に取付けることが出来ると共に、取り外し時には、指を介してレバーを押すことで、枢部を支点として回動し、係合部との係合を外すことができ、容易にカバーを基体から取り外すことができる。そして当然ながらドライバー等の工具も必要とせず、爪などを破損させることもない。また、レバー及びカバーが樹脂のため弾力性があり、レバーから指を外すことから元の位置に復帰される。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図示例と共に説明する。図1ではカバー1の斜視図が、図2ではカバー1の正面図が、図3ではカバー11が基体2に取付られた断面図が示されている。カバー1は樹脂製で、基体側の形状に対応した形状即ち対応する形状で、内部に空間部3を有していると共に、その開口側は基体2に嵌め合せられるに適する段部4を形成している。

【0009】このカバー1の長手方向で、対向した位置に爪5、6が形成され、該爪5、6は下記する基体2の係合部となる係合孔7、7と係合されている。爪5は、カバー1の内側に向いて取付られている。そして、爪6は、図1、図2に示されるごとく、内側に向かって縦方向に長い平板状のレバー10の下端に設けられている。このレバー10は、長手方向中間で枢部11を介してカバー1に取付られている。即ち、レバー10は、下方（爪6側）から枢部11までの間で両側に細長い切欠12a、12bが形成されると共に、枢部11より反爪側に伸びてカバー1から離れている。

【0010】このような構成のレバー10は、前述したごとく樹脂で形成されているので弾力力が持たされ、図4に示すように、指にて反爪側を押圧すると、枢部11を支点として二点鎖線で示すように回動し、基体2の係合孔7と係合を外すことができる。なお、指を離せば、レバー10は元の位置（図示の実線のような位置）に復帰するものである。また、当然ながら、取付はカバー1を基体2に挿入することで爪6がカバー1上を摺動し、係合孔7に落ち込むことで係合し取付られる。

【0011】基体2は、実施の形態では、空調用コンプレッサであり、所望の形状となっており、適所に端子とセンサーが配され、それを保護するためのカバー1が取付られる部分を有する。そして、前記爪5、6と係合する係合部としての係合孔7、7が形成されている。なお係合部は係合孔ばかりでなく、係合突片や係合溝でも良い。

【0012】上述の構成において、図4に示す実線のような状態が定常状態であり、指にてレバー10の反爪側を押圧すると枢部11を支点として二点鎖線のごとく揺動し、係合孔7から外し、もつて、カバー1を基体2か

ら取り外すことが出来る。当然ながら、爪6を外すことで他の爪5は係合孔7から簡単に外される。

【0013】なお、爪5については、カバー1に取付けられた例が示されているが、図示しないが爪5についても、爪6と同様にレバーに設けて枢部11を介してカバー1に取付けるような構成にして、両端の2ヶ所に可動用の爪にしても良いものである。

【0014】

【発明の効果】以上のように、請求項1及び2の発明にあつては、レバーに指にて力を加えることで、爪と係合部との係合を解除できるので、カバーの取り外しが容易となってメンテナンス時に便利である。また、取り外し作業に道具を必要としないし、カバー、レバー、爪を破損させることもない。さらに、レバーから指を離せば樹脂の弾力にて爪は元の位置に復帰される。さらにまた、

基体所望の機器に組み付けられた状態にあつても、手が入ればカバーを簡単に取り外すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態であるカバーの斜視図である。

【図2】同上発明の正面図である。

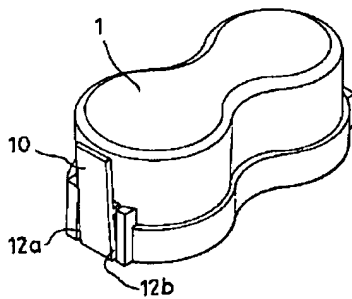
【図3】同上の断面図である。

【図4】同上の操作状態を示す説明図である。

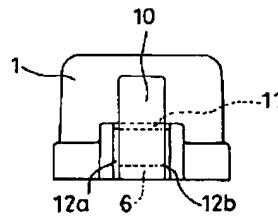
【符号の説明】

- 1 カバー
- 2 基体
- 6 レバー
- 7 係合孔（係合部）
- 10 レバー
- 11 枢部

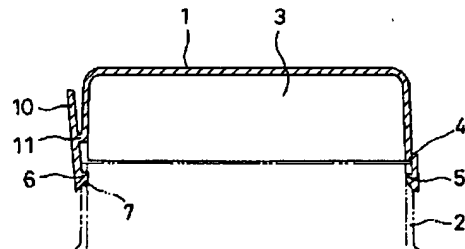
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

